

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 31 2007. 2. 16

インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。
配信は毎週金曜日に変更しました。

皆さん、こんばんは。

今日は《生活編 Life 4》、インドネシアに行かれた方ならご存知の、三輪自転車ベチャのお話です。

■ 31 庶民の足ベチャが風を切って走る

危ないながらも、ベチャほどこの国で爽快な乗り物はありません。

早朝の車が少ない時を見計らって、パサール(市場)に行く時など尚更です。田舎の住んだ空気を切ってベチャで進む爽快感はたまりません。

そもそもベチャとは、伝統的な客乗せ自転車です。

自転車の前部に客席を設け、その両側に2車輪を設けたもので、その形状は逆三輪車となります。

人力のベチャは庶民の乗り物で、道路の辻々、バスターミナル、そして特にパサール(市場)の周辺などに幾重にも集っているのです。

ベチャの客席は大人二人用ですから、二人乗るのがふつうです。しかし、小さい子供たちが4人も5人も乗り込むこともあります。

その負担は、ベチャの運転手の脚力にかかってきます。

また、パサール帰りのご婦人が一人で乗り込むこともあります。客席に乗る

のは太った本人だけかと思いきや、その両側には荷物をどっさりと山積します。もちろん彼女はベチャで颯爽と帰宅するのです。

圧巻は洋服タンスなどの家具で、ベチャ自身よりも遥かに大きい品物を乗せて運んでしまいます。

4輪リヤカーの3輪車版とでも言えるでしょうか。

このベチャの特技は、そう「なんでも運んでしまう」ことなのです。

ベチャの料金はベモ(アンケータン)という乗合自動車に比べると割高です。ベモとは、軽ワンボックスカーを客が乗れるように改造したもので、ギューウギュー10人ほどが乗り込める車になります。

ベチャの料金が安い理由としては、単独で利用できる手軽さと、つらい人力仕事の代償と言えるでしょう。

何しろ自転車ですから、人を乗せて緩い坂道を上がるだけでも大変です。

ましてや、重い荷物を載せると、動き出して慣性がつくまでとても労力が必要なのです。

さて、果物の王様はドリアンですが、ベチャはさしずめ道路を走る「乗り物の王様」に比喻できるでしょう。

ベチャこぎが汗臭い異臭を放つことも似ていますが、この国で暴走族まがいのバスもこのベチャにはかなわないからです。

車幅の広いバスはふつう、自転車やオートバイをはるか遠くからクラクションで追い払い、素っ飛んで行きます。

しかし、ベチャが道路の路肩を走っていると、なんとこのバスが徐行運転をするのです。

すなわち、バスはベチャに対してはなぜかおとなしく、追い越す時期をうかがっています。

したがって、両車線とも混んだ時間帯など、ベチャがバスを初め数珠つなぎの車を従えた「乗り物の王様」という訳です。

しかし、いくら王様でも安穩とはしてられない時代になりました。

お客を乗せると凹凸のある路肩ではなく、どうしても車道を走らざるを得ません。それに二人が横に座れるベチャは、片側車線の半分ほどを占領してしまいます。

古き良き時代の乗り物であるベチャも、これほど交通量の増えた車社会では重荷になってきています。

人力によるスピードの遅さから、交通事故や渋滞の元凶に変わりつつあるのです。

現に首都ジャカルタでは、それまで大通りだけに限っていたベチャを、市内全域から締め出す条例を90年代半ばに制定しました。

そして、第2の都市スラバヤでもその幹線道路からベチャが消える日も、そう遠くないと思われます。

この国では卑しい仕事の1つとされるベチャの運転手は、最も手軽にありつける仕事です。

大都市では消え行く運命にあるベチャですが、今後も地方都市や田舎町での需要がある限り、細々と後世まで残ることでしょう。

【後記】

一昨日の14日、「春一番」が吹いたと夕方のニュースで報じていました。多くの住む多摩市ではまるで強風を感じなかったので、気象庁のデータをネットで見ると、その日の最大風速が八王子で4m、府中で2mと今月最低の数値。

やはり多摩市近辺ではあまり風がなかったようです。それはそうと、気になったのが気象用語です。風に関するものでも、風速の厳密な意味は？

風速：10分間の平均風速で単位はm/s。

最大風速：1日の風速の最大値。

瞬間最大風速：瞬間風速の最大値。

気象庁のデータの中には、平均風速というのもあります。ということは、風速自体が平均値ですから、そのまた1日の平均ということでしょうか。

ところで、「春一番」や「冬から春への移行期に、初めて吹く暖かい南よりの強い風」は風速15m/s以上なのですが、最大なのか平均なのか明確ではないようです。

「南よりの風」というのもやっとわかりました。南東から南西の間、すなわち南方向の90°方向からの定まらない風だそうです。

これに対し「南の風」は南方向45°方向からのほぼ定まった風、とのこと。皆さんはご存知でしたか。

では、また来週をお楽しみに。

=====

インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 32 2007. 2. 23

インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。
配信は毎週金曜日に変更しました。

皆さん、こんばんは。

今日は《生活編 Life 5》、夜行特急列車のお話です。

■ 32 夜行特急列車のサービスがすごい

インドネシアに最初に来た時から17年目(2001年)にして、初めて汽車に乗りました。

仕事の時や家族を迎えに来る時でも、時間の関係で必然的に飛行機や車の旅となるからです。ましてや汽車はジャワとスマトラしかないので、他の島ではすべて車・船での移動になります。

今回列車を利用したのはジョグジャカルタ - バンドンです。

このジャワを代表する2都市間を結ぶ航空便がなく、また以前は1日10便以上あったジャカルタ - バンドンも今はありません*。

おそらく98年ごろの航空機事故が影響しているのでしょうか。

したがって、ジョグジャからジャカルタ経由、バンドンというルートもとれず、あえて夜汽車の旅となった次第です。

ところで、バンドンはぼくの仕事上重要な都市になります。

それは、バンドンにある地質調査所にインドネシアの地質資料がすべて揃っ

ており、調査・工事にはその収集が欠かせないからです。

この都市へのアクセスが不便になったのは、自国の人だけでなく外国人にも困ったこととなります。

夜行特急列車のジョグジャ・バンドン間は6時間40分の予定で、スラバヤ始発の列車に23:20に乗ると、翌朝6:00に着きます。

しかし、30分以上遅れてきた列車に乗り込むと、これがバンドンに着いたのは、さらに遅れて7:20過ぎでした。

乗り込んだ列車では、すぐにナシ・ゴレン（炒飯）などの注文を取っていました。夜中で食事をする気もないので断りましたが、後で聞くと無料とのこと。

列車内は冷房の利きすぎで非常に寒く、ほどなく毛布と枕のサービスがありました。普通席では列車の振動と騒音でほとんど寝れませんでした。

列車のサービスの良さは、バンドンからの帰りに実感しました。

19時始発の列車に、ホカホカ弁当（本当にある）を持って乗り込み、発車直前に食事を済ませました。

するとどうでしょう。定刻に駅を離れた列車内で、ほどなく食事が運ばれてきたのです。

えっと驚いていると、飛行機内の食事よろしく、プラスチックの盆の上におかず2品とお皿、それにバナナとアクア（飲料水）がのっています。

それからすぐに別のウェイトレスが来て、持っていた小さなジャーから熱いご飯をお皿についでくれたのです。

既に食事の済んでいるぼくは、飯を少しにしてもらいました。

「いや、これなら弁当など買うんじゃないかった」

と悔やみましたが、すでに後の祭です。しかも、サービスはこれだけではなかったのです。

皆の食事が終わる頃には、ジュースはいかが、コーヒー・紅茶はいかが、と回ってきたのです。

ジュースはアボガドでした。砂糖入りの飲み物はすべて甘そうだし、お腹も一杯なので断りました。

食後まもなく例の毛布・枕も運ばれてきたことは言うまでもありません。

バンドン - ジョグジャ間の片道運賃は、115,000Rp (約1,300円、2001年現在) ですが、こちらの人にはすごい大金になります。

しかし平日にもかかわらず、列車はほぼ満席でした。航空機同様のサービスを受け、費用はそれよりはるかに安いのですから当然かもしれません。

さて、食事後切符を拝見に来た車掌は、ぼくの行き先を聞き「ジョグジャだね、後で起こすよ」

と言い残して行きました。

しかし、夜中になり到着予定時刻の1:49を過ぎても列車が駅に入る気配はまるでありません。

なんとなく不安になっていると、2:30頃ですが例の車掌が急ぎ足で「直にジョグジャだよ」

とぼくを含めた降車客一人一人に告げに来たのです。

* ジャカルタ - バンドン間航空便：2001年夏に再開しました

【後記】

これから春が近づくたびに雨の降る日も多くなる頃ですね。天気予報も当たればいいのですが、先日(20日)のようにまるっきり外れると困る方も多いでしょう。

予報では「曇りから晴れ」が、実際には「一日中雨」となるとどうしようもありません。

この冬は暖冬ですが、晴れ続きでほとんど雨が降りませんでした。カラカラ時の雨は恵みの雨となるときもありますが、まるっきり予報外れとなると話が変ります。

近年の天気予報は、皆さん当たるほうだと思いますか。

ぼくは、これだけ科学技術の発達した世の中にしては、結構外れることが多いのでは、と感じています。

「雨」の予報が「晴れ」ならいいのですが、逆はまったく困ります。

出掛けに降っていない時は「今日はこれから天気がよくなる」と思い、誰も傘など持ちませんよね。それで、だいぶ雨にあたった方も多かったのではないのでしょうか。

昔に比べると格段かつ瞬時に広域の気象データがわかるはずですから、もう少し予報の精度を上げて欲しいなと思います。

では、また来週をお楽しみに。

=====

インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 33 2007.3.2

インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。

配信：毎週金曜日

皆さん、こんばんは。

今日は《生活編 Life 6》、サロンという布のお話です。

■ 3 3 サロンは真夏の優れ物

サロン Sarung はインドネシアの伝統的な着物です。

着物といっても日本の着物や浴衣とは異なり、ジャワ更紗 1 枚の両端を縫い合わせ、身体が入るように丸くした布ですね。

そんな簡単な布切れですが、これは今でも正装の 1 つになります。

この丸い布を腰に巻くのはとても簡単です。

まず胴回りの 3 倍ほどもある布の中にスッポリ入ります。胸の辺りで布の上部を両側に広げ、その横幅の 3 等分に当たる左右の布を、胸の前に折りたたみます。

たたんだ布を上端からクルクルっと腰の辺りまで丸めると、それでサロンの完成です。

ちょっとわかりづらい説明ですが、要は日本人が風呂上りにバスタオルを巻く要領を思い出したほうが早いかもしれません。

バスタオルの両端が縫い合わせてあると思ってください。

バスタオルをクルッと巻くのは前の方だけですが、サロンの場合胸の辺りまである布の全体を、上から腰まで巻き下げるのです。

実に簡単な使い方なのですが、上の説明で逆に疲れた方がいるかも知れませんね。

身体につけている様子は、ちょうどロングスカートをまとったようになります。常夏の国ではこれは涼しく、ジーパンなどよりよっぽどいいですね。

最初は、男の方ならちょっと恥ずかしいような気になりますが、馴れるととてもいいものです。

ぼくの最初の滞在地では、日本の方々もマンディ後にはこのサロンをまとい、ゆっくりと食事を楽しんでいました。しかし、今ではそんなことをする人はまずいないようです（社風もあるようですが）。

こちらでもだんだんサロンを見掛けなくなっていますから、社会的な傾向なのでしょう。むしろ、最近ではショートパンツをはいている若者を結構見かけます。

一昔前だったら長ズボン以外は厳禁で、短パンをはいているのは外国人旅行者か、華僑の人と相場は決まっていたのですが。

今ではデパートなどの衣料品店で、短パンが簡単に手に入ります。

しかし、衣類でも何でも、伝統のものが消えていくのが世界の風潮とはいえ、淋しいものですね。

前にマンディにサロンが欠かせないと書きましたが、本当に便利な布切れなのです。

サロンをたとえば女性も人前で堂々と水浴びができます。また、男だってサロンの中で下着を付けなくてもわかりません。

このサロンは、寝るときにも重宝するのです。南国で寝るときは毛布やタオルケットでなく、これが一番いいのではないのでしょうか。

もちろんエアコンなどは切り、窓を開けて寝るのです。

熱帯は暑いのでエアコンを強烈にきかせている人もいますが、外気との温度

差が激しいと身体に良くないのは目に見えています。

日本でもよく問題になる冷房病そのものですね。ですから、こちらではできるだけ自然のままがいいのです。

このサロンは今では我が家の夏の寝具として欠かせません。

日本の夏はジメジメと本当に暑いですね。真夏日などは寝付けない人も多いでしょう。

そして、タオルケットをかけてもいつの間にか剥いでいる状態は誰でも経験あると思います。

こういう時にこの「サロン」がピッタリなのです。

サロンに包まって寝ると腹巻の役目をしてお腹を冷やさないし、ペラペラのコットン1枚だから掛けても暑く感じません。

これが特に小さい子供には極めて実用的なのです。

子供は寝相が悪いですね。タオルケットを掛けても、ものの10分もしないうちに脇の方にかたよっていたりします。

しかしこのサロンは掛けるのではなく包まれますから、身体の重みではだけ心配がまったくありません。

子供にとっての実用品は、大人にとっても同様です。真夏日などに肌掛けあるいはタオルケットを掛けるより、サロンに包まって寝てみませんか。

暑さ解消のために冷房だけに頼るのはぼくの好みではありません。サロンというとても便利なものがあるのです。

インドネシアに旅をした時は、ぜひサロンを何枚も買ってみませんか。家族にはもちろん、友達にもいい土産となること請け合いです。

試しに1枚は自分用に買い求め、ホテルの窓を開けてサロンに包まって寝てみることをお奨めします（バリのコテージなどでは蚊が入ってこないことを確かめること）。

そしてうっすらと汗をかいたら、朝の起き掛けに水でマンディ。それであなたのすがすがしい1日が始まるでしょう。

【後記】

暖冬といっても風邪をひく時にはひいてしまうものですね。

2月末日の夕食後、娘が「なんかお腹が気持ち悪い」と言うのです。その後、嘔吐をし、胃薬を飲んだり喉がかわいて水を飲んだりしてはすぐに嘔吐の繰り返し。熱は全然ないのですが、夜中になっても収まりません（食後の方ごめんなさい）。

全く同じ食事（前日のインドネシア料理にたっぷりのサンバル）をした妻はなんでもないので、食中りではないようです。

このままで眠れそうにないので、急遽救急病院に連れて行きました。行く途中少し寒いというので、病院に着くと37.3度と少し上がってきたようです。

診断は風邪による急性腸炎。家に戻っても、飲んでは吐くでは困るので点滴をしてもらうことにしました。その所要時間は2時間ほど。

点滴をして帰宅すると、もう2：30。これでゆっくり寝れると思ったのですが、「また駄目」と明け方まで3度ほど嘔吐が続きました。

おかげで翌日はしっかり寝不足。朝になっても、まだ吐き気は収まらないみたいです。

そういえば1月中ごろにも妻が同じ症状になりました。今年の風邪は、咳や鼻水とはまったく無縁のようです。

もうすぐ春！と油断している時にちょっと寒い目にあうと、今年あまり頑張り所のない風邪ウィルスの出番となってしまいます。

皆さんも寒さには油断をせず、風邪とは無縁の春を迎えられますように。

では、また来週をお楽しみに。

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 34 2007.3.9

インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。

配信：毎週金曜日

皆さん、こんばんは。

今日は《生活編 Life 7》、日本でも流行りだした抱っこ枕のお話です。

■ 34 抱き枕の起源は

抱き枕（抱っこ枕ともいう）なるものが90年代後半から日本で流行っているようです。

正式にはなんという名前か知りませんが、とにかくこの抱き枕はこの国ではごく一般的な寝具になります。

ぼくが寝泊りする宿舎やたまに利用するホテルでも、今まで寝たベッドには必ずこの抱き枕が用意されていました。

でも、当初は抱き枕と知らずに、なんて邪魔なものがベッドの上においてあるのかと思っていたのです。

なにしろシングルベッドだったら自分の寝場所がなくなるほど狭くなるし、セミダブルでもこの枕はかなりの場所を占領します。だから邪魔なものは片付けようと自分で洋ダンスの中に入れたり、メイドにいらないからしまっておくよう指示したりしていました。

今考えると、ぼくがどうして抱き枕を使わないのか、メイドはおそらく不思議がっていたのではないのでしょうか。

日本で売られている抱き枕はくびれたり先が細くなったりしていますが、こちらのは長さ1mほど、直径30cm近くもあるずん胴なものです。

この長い丸い枕が普通の枕の下、つまり寝るのと同じ縦方向に横たえられているのです。

おそらく冷房をガンガンかけている人はこの抱き枕が温かいのでしょうか、ぼくは寝る時は消しますから枕を抱いて寝たら暑くて堪らないですね。

だから今でもこれを抱く癖はありません。

しかし子供たちは違います。ごくごく小さいうちから妻の用意する抱き枕に慣れてしまっているので、日本でも買って欲しいとせがむ有様です。

とにかく慣れるとこれ無しでは寝つけないようですね。

枕の使い方はと言うと、当たり前ですがこれを抱きかかえるようにして寝るのです。

子供たちの抱き方は堂に入ったもので、片手片足をうまく絡めて寝ます。そしてこの寝方は、いつかテレビで見たのですが、自然で疲れない合理的な体形らしいですね。

若い時分にはぼくもよく妻の抱き枕代わりにさせられ、閉口しました。いくら細身の片足でもゆっくり寝つけるほど軽くはありません。

ちょっと重さに耐えられなくなるとすぐ退散してもらうのですが、枕替りがなくなると「抱き枕が欲しい」とぼやくことしきりです。

話が突然変わりますが、妻が日本にきた当初は普通の会話はもちろん、口喧嘩までインドネシア語でした。

彼女が日本語をぜんぜん話せないので、それも当然です。4~5年経ち、子供の幼稚園をきっかけに日本語も徐々にうまくなり、その後口喧嘩もしっかり日本語になりました。

ぼくはあまり言葉を教えるのが得意ではありませんから、なるべく本(日本語の教則本)を読ませて、辞書を引くように言っていたのです。

それは自分の経験からで、人に聞いた言葉よりも辞書で覚えた方がきちんと

覚えられる、というかなり独善的な発想だったのですね。

だから今でも、「日本に来たばかりの頃、あまり言葉を教えてくれなかった」と事あるたびに言われてしまいます。

さて、抱き枕に戻りましょう。海外の数多くの国を知らないので何とも言えないのですが、この抱き枕の起源はどこなのでしょう。

ひょっとしたらインドネシア辺りかも知れませんが、他の国にも似たようなものが当然あるような気がします。

誰かが形を変えて持ち帰り(もちろんアイデアでしょうが)、日本で普及させた可能性が大きいと考えてしまいます。

我が家では必備品の枕ですが、日本で売られているのは高価だし、そうかといってこちらからは嵩張ってとても持っていけないものではありません。

ともかく三人分の枕を用意するというのは、当分の間お預けですね。

【後記】

また悲惨な飛行機事故が起きてしまいました。

3月7日午前、ガルーダ航空のボーリング737型が着陸失敗、オーバーランして炎上。しかし、たくさんの乗客も無事の方が多く、不幸中の幸いでした。

ジョグジャ、ガルーダと聞くと人事ではないですね。今まで仕事でも世話になった街ですし、ガルーダはよく利用する航空会社です。

インドネシアの航空業界ではこの3年ほどの間にたくさんの新規参入があり、ガルーダのパイロットが他社に移っているような話を聞いたことがあります。

ガルーダは国軍のパイロット出身なので、かなり優秀と聞いていたのですが...

おそらくどこの国でも同じでしょうが、これだけ航空便が増えると当然パイロットの数は足りないでしょう。その分労働時間も増え、無理なしわ寄せが来ることも考えられます。

世の中どれだけ便利になれば満足できるのでしょうか。少くも便利が少なくても充分だと思いますが、慣れてくると利用者も航空会社もできるだけ多くとエスカレートするのかもしれない。

それにしても昨年から、地震・津波とジョグジャカルばかり、立て続けに災害が起こっています。早く平穏な日々が来ますように。

しかし、あそこには短い時で2-3年毎に噴火して災害をもたらすメラピ山があります。これだけはジョグジャのもって生まれた運命ですから、うまく付き合っていかなければならないでしょう。

では、また来週をお楽しみに。

=====

インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

インドネシア雑感記 : 希多 いくと

Vol. 35 2007.3.16

インドネシアの自然、土地、食べ物、生活、社会などを、エッセイ風の雑感記として、メルマガにて紹介します。当国の理解に役立てれば幸いです。

配信：毎週金曜日

皆さん、こんばんは。

今日は《社会編 Society 3》、テレビアニメのお話です。

■ 35 日本のアニメがテレビを独占

ここインドネシアではテレビ番組に日本のアニメが目白押しです。もちろん現地語の吹き替えですが。

2001.11.11(日)のアニメ番組を現地スラバヤのメジャー新聞ジャワ・ポス Jawa Pos から拾ってみました(最初のアルファベットは現地TV放送局名)。

RCTI : 忍者レンジャー、チビまる子ちゃん、ドラえもん、クレヨンしんちゃん。

SCTV : ロボタン、ドクターランプ、ポケモン。

INDOSIAR : 21工門、ドラゴンボール、忍者はっとり君。

この他にもそれらしいのがありますが、最近のものはほとんどわからなく、またアルファベットなので定かではありません。

しかし、これだけでざっと10番組になります。

「ドラえもん」は、もうずっと続いている人気番組で、本屋でも翻訳漫画本

がベストセラーとなっているほど。

95年の頃は、「セーラームーン」がテレビで大流行。今でも「ドラえもん」同様本屋にどっさり並んでいます。

その前はと言うと、なんとNHKの「おしん」が一時期大流行でした。と言っても聞いた話で、吹き替えなしの字幕付きドラマで昼の時間帯に週2回、3年間ほど放映されたようです。

(期間・頻度など正しいかどうかは本題から逸れるので検索無用です。「おしん」当時はTVRIという国営放送しかなく、今のようにたくさんの放送局があったら、選んで見てくれたかどうかは疑問ですね。)

日本のヒット曲では、前にも書きましたが五輪真弓の「心の友」がダントツ。これがテープA面の1曲目に収められており、2曲目の「雨宿り」と共に大ヒットしました。

どちらの曲も日本での彼女の暗いイメージがありません。ちなみに、テープのタイトルは「The Very Best of Mayumi Itsuwa」。B面一曲目の「恋人よ」がA面1曲目だったらヒットしなかったのではないのでしょうか。

さてアニメに話を戻します。

日曜日にこんなに日本のアニメが独占しているので、土曜を入れたらいったいいくつかの番組があるのかと思い、昨日の新聞を引っ張り出しました。

が、意外にもそこには1つの番組もないのです。

土曜日は小学校・幼稚園共に休日でないため、日曜の午前という時間帯にアニメが集中するのでしょうか。

最近は衛星放送のおかげで、NHKを見ている日本人たちが多いようですが、せっかくの海外勤務、現地の言葉に慣れるにはテレビも有効なのです。

特に若い人たちはこれらのアニメでインドネシア語を学習するのもいいでしょう。何と言ってもそこは日本のアニメ。画面を見ていれば、何を言っているかほぼ想像つきますね。

こちらのニュースなどは非常に難しいので、アニメは初心者にとっても良い語

学教材と思われます。

さて、日曜日の語学学習への障害はというと、何と言ってもゴルフでしょう。土・日の休みを利用しゴルフに出かける方が大勢います。

日本に比べてはるかに安い料金だから、「やらなきゃ損」という気持ちもわかるのですが。でも、皆がやるから仕方なくやっている人も中にはいるのではないのでしょうか。

ぼくはゴルフが好きではないので、コースに出たこともありません。家族を置いて自分だけ遊ぶ(スポーツだと反論されるでしょうが)ことが性に合わないのです。

特にゴルフは涼しい国の遊びで、この暑い国の炎天下では身体に負担が大きく、いくらスポーツでも健康に良くないように感じるのですが...

インドネシア語に興味のある方は、日曜の午前中に現地放送のアニメを少し眺めてみませんか。インドネシア語の教材として、会話の聞き取りの練習ぐらいいにはなると思います。

なんでも取っ掛かりが大事ですから、語学を始めるひとつのアイデアとして「アニメで慣れる」のはおもしろいのではないのでしょうか。

【後記】

今年は暖冬と言いながら、ここに来て寒さに見舞われています。

スキー場を閉めようとしていた時には恵みの雪ですが、北国ではすでにスパイクタイヤをはずした方もあるようでお気の毒でした。

今年の桜は例年になく早いとの予報でしたが、気象庁の計算間違いとは笑うに笑えないですね。それも、天気予報があまり当たらないせいでしょう。

ところで、ぼくの生まれた水戸では小さい時分4月の入学式の頃に桜が満開だった記憶があります。これが札幌では、5月初旬に梅と桜が隣り合って咲き

ますし、沖縄では1月下旬に桜祭り(今年は確か早かったようですが)、ここ東京では3月下旬に桜が咲き始めます。

縦に長い日本のそれぞれの土地柄により桜の咲く時期が異なり、それぞれの思い出を皆さん持っておられるでしょう。

「桜」はいいですねー。この寒さからすると、今年の桜も例年どおりになりそうですね。

では、また来週をお楽しみに。

=====

インドネシア雑感記

発行システム：『まぐまぐ!』 <http://www.mag2.com/>

配信中止はこちら <http://www.mag2.com/m/0000207699.html>

=====

インドネシア語入門講座 配信中

カテゴリ：語学・資格 その他の外国語 その他

配信：毎週金曜日

発行者ホームページ

<http://www.baronjp.com/>

=====

Copyright © 2007 Baron, All Rights Reserved